



ロボットシステムを「つくる」から「組み合わせる」へ ～ モジュールの共有・再利用が切り開く、新しい開発スタイル ～

ロボティクス

オープンプラットフォーム

(国研)産業技術総合研究所、川崎重工業(株)、(株)竹中工務店 他

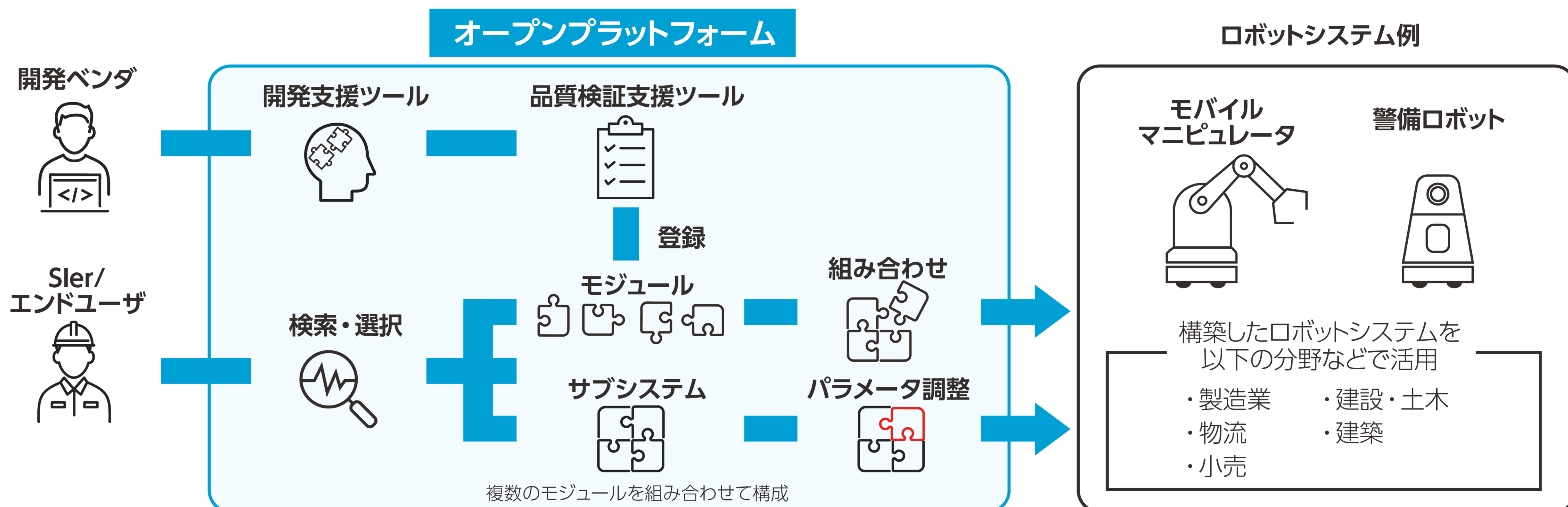
プロジェクト概要

- ロボットシステム開発の現状は、個別開発が中心であり、開発コストや期間の増大、同様の機能の重複開発が課題となっている。
- 本事業では、**必要な機能を組み合わせることで効率よくロボットシステムを構築できる環境の実現**を目指している。
- ソフトウェアモジュールの品質確保と流通を支えるオープンプラットフォームを整備**することで、モジュールの再利用を促進し、ロボットシステム開発の効率化と社会実装の加速を図る。

本プラットフォームがもたらす価値

- ✓ **コスト削減** … モジュール化された部品を活用し、開発・導入・運用コストを低減
- ✓ **開発期間短縮** … 品質保証されたモジュールを組み合わせることで開発工数を削減
- ✓ **AI活用を加速** … 生成AIモジュールと連携し、高度なロボットシステム開発を支援

品質保証されたモジュールを組み合わせ、ロボットシステムを容易に導入



今後の展望

2027年に実証環境のテスト版をオープン予定。

ロボット開発に使うソフトウェア部品（モジュール）を開発していただける企業・団体や、それらの部品を実際のロボット開発で活用していただける企業・団体を求めています。お気軽にご相談ください。

参加対象：モジュール開発者、モジュール利用者、Sler・システムベンダー、ロボット導入企業、実証・評価フィールド提供者

事業化フェーズ

フェーズ	基礎研究	応用・PoC	実証	事業化準備	商用化
TRL	TRL1-2	TRL3-4	TRL5-6	TRL7-8	TRL9

プロジェクト実施期間	2025年度～2027年度	プロジェクト全体予算額	103億円
NEDOプロジェクト名	ポスト5G情報通信システム基盤強化研究開発事業／ロボティクス分野におけるソフトウェア開発基盤構築		
お問い合わせ先	NEDO AI・ロボット部 ロボプラ事務局 Email : robo-pla@nedo.go.jp		

